

刊夕日一十二月九



定額一円五角 毎月五円 半年三十円 一年六十円
 日曜日の日休 休日の日休
 印刷所 常盤印刷局
 電話 六八〇〇
 社 常盤印刷局

一滴天地の恩

真 繼 雲 山

近ごろ、生活難の叫ばれる半面には、何處の飲食店活動館も超満員でつた返り、辨當の食ひがらには飯粒が満点してゐる。一つぶ残らずいたゞく人は十人に一人はゐない。斯うした、だらしなまでは非常時は克服されず、一家の経済は保たれない。米一粒の損益計算をいふのではない、さうした忘恩と、放縱と、自墮落さが一家一國を弛緩せしめ亡ぼすの因をなすのである。

かつて岡山の曹源寺に一沙門があつて修行してゐた一日、半碗の水を庭に捨て師の坊義山和尚より「なせ草木にでもかけてやむぬか勿体ない」と訓へられ、一滴は天地の恵みであるといふに徹し、名を滴水と改め、後遂に大成して天龍寺の滴水禪師と仰がれた。

道元禪師は半杓の水なほ粗客し給はず。蓮如上人は本願寺の廊下に一紙片を見つけ「佛法領のものをおだにするかや」と押しいたゞかれた。洞山和尚は菜ッ葉一枚を追ふて溪流十八丁を下られたといふ。

一紙半葉も尙かつ天地法界の結晶であれば、これを捨つること佛身を斬るにひとし。殺生戒とは鳥けものだけの話とは限らず、命ある糸一屑、芋一切を捨つる不知恩も亦たこれ殺生である。

獲すなどりを非といふにはあらず、人なき室に電燈をともし如き無駄をするな獲りたる鮒を土足に踏みこ

- 朝 小豆粥
- 小付 こんぶ辛煮
- 晝 カレー粉入りいため
- 晩 天ぷら(いか、しやこ、穴子、割醬油、大根おろし)
- 清汁 わかめ

ちる如き無慈悲をせざれと願ふのである。

粗食を見て、しかめづらし、親の前にあぐらして食事する子たちに合掌の謙虚さはなく、さうした家庭に佛はゐます、佛なければ榮光なし。花にも土にも悉有佛性の命がある。一切を佛のみすがたと拜するつゝ、まじやかな感恩生活にのみいつも如来のふところに抱かるゝ平安と悦樂があり、それでこそ功德現成して、

焼身供養の話

凡人は他人を蹴落しても自己の名利を満足せしめやうと焦る、そこに現代人の相剋と闘争とがある。

自ら生き、自ら利すること、そのまゝ、他のためであれと念じ、衆生のために生くるところに自らの生命を見つけやうと期するものに菩薩がある。

自らを犠牲とし、無我になり切つて他のために奉仕し得ずそれは大慈大悲の佛であり、そこに宗教の最高極致がある。

法華經藥王品には、藥王菩薩かつて喜見と稱せし時「神力を以て佛を供養すとも身を以て供養せんには如

常警々警

かじ」として香油を身にそぎ、自ら火を發して身を焼きしことが述べてある。謂はゆる焼身供養の典據をなすもので、他のために我が身を削りて悔なき精神的な光りが輝いてゐてこそ、この地上には禽獸と異りたる佛の世界であり得る。

外科一般 レントゲン科
 内臓外科
北川外科
 平町新川町二七(曙橋醫院跡)
 醫學博士 北川芳夫
 小林良次
 電話四六四番
 (血液検査毎日)
 イツテモ入院出来マス

美味... 新鮮...
三井タクシー
 平二 電六八五番

美味... 新鮮...
東京堂のパン
 是非御試食を!
 平樋樋小路
 電話一〇八番
 徒弟入用

ほね つぎ
大河内接骨院
 平町才樋小路
 電五八八

貴方の御家庭に
 お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
 直に家政婦派出します
 親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 お留守 居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や雑用
派出多忙に付會員至急募集
 平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
 會主 産婆 上原通子

櫻丘會員二告グ
 一、櫻丘會員視察旅行
 二、参加者 櫻丘會員、町立時代ノ卒業生又其近親タル女子
 三、旅行地 土浦：潮來：鹿島：香取：成田：上野(解散)
 四、費用 八圓(當日持參：土浦迄ノ切符購入者ハ其ノ金額ヲ差引ク)
 五、日時 十月二日午前七時三十分平驛發 潮來着泊 十月三日潮來發：上野着(午後三時ノ豫定)解散自由行動
 六、申込期間 九月二十三日マデ(母校菅波へ)
 参加者ハ十月二日午前七時マデ平驛集合、平驛以外ノ者ハ同列車ニ乗車ノコト

かまぼこ 製造
お茶屋
 平町一丁目
不寐寔
 電話一四一番

刈取りが遅れば

凶作同様に減収

現在の模様では平年作を

遙かに突破するとの豫想

愈々刈取期を控へて郡農會では早刈りを奨励してあるが郡下の水稲作柄は既報の如く全般に亘り良好で實收は平年作を遙かに突破して二十萬石と見られて居り早生種はそろそろ色付き來月早刈りに着手する筈であるが一般に一週間乃至十日位刈取が例年より遅れてゐる様である。右に就き郡農會では早刈りを奨励して左の如く語る

平草野道雄△走高飛内郷 高橋勇吉△砲丸投同伊藤 徳雄△俵槍飯野山崎君三 郎△千米繼走内郷藁谷廣 同寒河江武雄、大浦坂本 誠、内郷大谷岸雄△劍道 夏井鈴木至郎、澤渡佐藤 彌、植田長江定一△柔道 平白井晃、大野草野賢司 平阿部兼千代△相撲小名 宮部眞治、内都内藤敏 同鈴木幸七

郡代表の 青年選手

昨日決定す

郡聯合青年團の体育郡は縣下青年團對抗体育大會の出場選手を昨日左の如く決定した

- △百米内郷藁谷廣△四百 米同寒河江武雄△千五百 米同小坂橋新一△一〇〇米 湯本平間重太郎△走幅跳

木炭講習

終了式舉行

濱三郡木炭同業組合では去る四月以來箕輪村大字里に木炭講習會を開催してゐた

オリソピツクの旅

往來途上の印象記

辯護士 松野尾 繁雄

七月十五日午前十時半東京を發つて、途中ハルビンに一泊したのみ、あとは車中で暮して、伯林についたのは七月二十八日午前九時であつた。

滿洲を初めとして、眼にふれるものすべてが私にとつては全く新しい経験であ

關東北庭球に 平商借敗

三年連勝空し

平商庭球部は既報の如く昨二十日水高主催の下に同校コートに開催された關東北中等學校庭球大會に出場過般の縣下大會に破られた田村中學の金谷、桑野組を撃破する等破竹の勢で決勝戦に臨んだが惜くも水戸中學の山村、歌川組に4—2で敗れ三年連勝の榮冠も空しく涙をのんだ

分團對抗の 壯烈な追突戦

昨日の軟式野球戦跡

平町青年團主催各分團對抗軟式野球戦は既報の如く昨二十日午前八時から平第一平商兩球場に開始一般觀衆の人氣を博したが各チームの戦績左の如く結局勝殘つた二丁目、三丁目、新川町

大工町0—21新川町であつた。 平商の風景、モスコフ市街等々語るべきもの多きはなすが、先をいそいで伯林に入らう。

唯一つ、ソヴェートとポランドとの國境のことを書いてをこう。 此の國境は平地に人為的に一線を劃してゐるにすぎない。そこには自然の境界となるべきものは何もないのだ、ソヴェート側の驛ニゴレロエで税關検査をすま

六十枚橋 入札不調

入札不調

過般縣が指名入札を行つた草野、夏井間六十枚橋の架替入札の結果は最低入札三萬七千八百圓であつたが縣の當初の豫定額と一致せず遙かに豫算額を超過してゐるため不調に終つた、尙縣では直營か再入札か目下考査中である

警中競技奮戦

警中

の陸上競技部選手武藤義明開場後の兩君は昨日水戸市に開催された水商主催の關東北中等學校大會に出場武藤君は三段跳、走高跳各一等、走巾跳三等、開場君が八百米一着、千五百米六着

農會他縣視察

石城

郡農會評議員並に代議員八名は廿五日から三日間柴田技手引卒で新瀧方面の蔬菜及び市場、農業加工業の視察を行ふ

警女排球練習

警女

排球部は来る十月三四の兩日東京市芝公園内恩賜コートに開催される大日本排球協會主催オールジャパン選手權大會に出場する事になり目下猛練習中であるがこれが出場選手は二、三日中に決定の筈

泉村海岸工事

泉村

字下川海岸地内災害工事は昨日竣工した

小名測溝陳情

小名

濱町第四區長鈴木定太郎氏八名は昨日平七本監督所に出頭して過般施行することに決定した同町西町地の測溝工事に對し右は北側丈け實施されるため非常な不便を來たし更に町の美觀を損ふことなるので同時に南側も開始されたい旨陳情した

平町人事

△胡澤澤四八白土豊氏三男 孝さん
△古銀治町七邊藤喜八郎氏 二女玲子さん
△回死 亡
△南町三三加藤榮一さん (二三)

記念!!!

開業七週年 正價一割引特賣 五圓以上御買上の方に は景品を差上げます

計時

高橋時計店 平町二丁目 小店員募集細面談。



磐崎の中毒事件

死亡者が續出

土産に持参して家人にも

中毒が波及して益々擴大

去る十八日舉行した磐崎村忠魂碑除幕式の折詰中毒事件は既に二百四十二名の患者が續出、事件を重大視した平署では縣衛生課へ報告すると共に急遽現場に出張して調査を開始したのは既報の如く、更に平町縣細菌検査所々長皆川篤平技師並に縣嘱託、入山防疫係落合佐藤兩技師が折詰を分析して中毒原因調査中で重病者中十九日午後から廿日朝にかけて

の三名は遂に死亡、他に同村鈴木茂中(三)外十六名は重態である、因に除幕式當日参列した者の中に土産として家庭に持参したため家人に迄も中毒が波及して各大字で左記の如く患者を出してゐる

當時茨城縣多賀郡助川町宇平塚居住日立製作所職工大原正二(三)女は入野野村宇八上生れ同縣磯原町宇木皿カフエーよか樓こと大友しな方女給根本つるよ(七)で遺書に依り女には、二百餘圓 前借あり到底夫婦になれぬのを悲觀した結果工業用劇薬を呑むでの中行となつたもので女は生命は取止める模様

同村大字下船尾字居作五
○中野ミツ(三)同白鳥宇勝丘六七間部エン(七)同長孫字三反田二一根本エ

原因に就いては今日明日に判然するが矢張り辨當中の腐敗物からと見られてゐる

二百二十五圓で助川町料理店松本屋方に住込んだ當時知り合ひ去る十四日女が前記カフエーに住替いてからも同郷人であるところから急速に相思の仲となつて逢瀬を樂しんでゐたが多額の前借金で到底夫婦になれぬのを悲觀したもの

起き出さぬ

若い男女客

女中が見て吃驚

職工と女給の劇薬情死

昨日朝八時頃湯本町宇裏町旅人宿備中屋こと島崎よね方へ廿九日夜遅く投宿した若い男女客が

屋に近づくとうめき聲が聴こえるので恐々部屋を開けると見ると男は絶命、女は虫の息であるのを發見、平署から係官出張して検視の結果男は大浦村大字八木生れ

好問小學校では去る十八日の滿洲事變第五回記念日に當り同校に祀れる忠孝殿の大祭を執行、参拜後十時から記念野外學校劇、校内防

明日のラジオ

廿二日

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話し書きの仕方 鍋井克之
後六、一五 英語講座 岡部次郎
後七、三〇 ブラジルの夕中(後) 2 ブラジル民謡
3 物語
後八、四〇 小唄 柴小せ

明日の部
後八、五五 世界コナート 日本國際放送
後九、三〇 時報 ニューズ
明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部
後六、三〇 基礎佛語講座 丸山順太郎
後一〇、一〇 幼児の時間

行つて一般參觀人の印象を深からしめた

下車した老人を

背後から轢倒す

四倉町四倉合同運送會社運轉手新妻政雄(九)は昨二十日午後一時頃トラックを運轉して内郷村大字小島字新町地内國道を疾走中傍らの乗合から下車した同字食肉行商志村林治(五)を背後から轢き倒し頭部、脚部等に全治一ヶ月の重傷を負はせて取調べ中

喜高 永山光吉) △大寶寺(引地淳四郎 加治鐵雄)

平町各區長が

招魂社の

平町各區行政區長は過般の町村長石城支會に附議された信夫山招魂社の寄附金に關し、區内各戸より寄附金募集を圖る事になつた

平町各區行政區長は過般の町村長石城支會に附議された信夫山招魂社の寄附金に關し、區内各戸より寄附金募集を圖る事になつた

物故職員

菩提寺に参詣

平第一校は既報の如く今二十一日放課後夫々手分けして左記物故職員菩提寺に参詣慰靈祭を催したが第二校の同慰靈祭は明二十二日の申

△性源寺(矢野弘平 大須賀百世) △長源寺(武川教義) △大林寺(橋本

逃避行の

常習娘

箕輪村大字柳小屋字小畑忠八長女齋藤チヨノ(三)は去月十六日夜十一時頃豫て懇ろの仲となつてゐた永戸村大字倉戸字入敷治作弟木炭

裁判一束

△大野村大字八莖字片倉鐵山雜役夫長谷川菊太郎(九)同吉田彦太郎(四)茨城縣久慈郡魚屋渡邊勇吉(五)の三名は去る十四日廣野村折木飲食店渡邊眞綱方で花札賭博を開張今二十一日平區香西判事から賭博罪として長谷川は略式罰金七十圓、渡

高二の時間 音樂鑑賞「歌の旅」日本水野康孝(他)桃谷中繼
後六、〇〇 傳説物語「宮千物語」H.K.コードモ會
後六、二五 青年の時間「青年と家庭」麻生正藏
後七、三〇 子供と家庭の夕三三絃童謡 町田旬子
他2なせ、座談會 なせ、グループ3グアイ
オリオン獨奏 田實和子4
齊唱 オリオンコトル5
武勇物語「名槍むら雲」谷天郎
後九、〇〇 校歌と寮歌 山形、弘前高校生徒
邊は同四十圓、吉田は同二十圓に處された

平糶契約所報告

△人を求める方
△探炭夫 一六一三十五才迄 日給一圓位
△倉働 四十才迄 給料月八圓
△粗夫 四十才迄 給料十乃至十五圓
△賣子 三十才迄 給料歩合
△漁夫 二十才一四十才迄 給料歩合
◇職を求める方
△助手 十九才 高卒
△トラック助手 二十三才 尋卒

上田病院

平町 南町
電話二一九番

市原醫院

平町・田町
電話二一四番



（上）
（下）
丸尾・至陽（書）

二二七 愁嘆場一幕
伏谷如水は白洲に居るお花をきつと見て

伏「その方が幕臣青木彌太郎の手下となつて鐵砲を買入れ、その他軍費調達のため悪事を働かし、これは大木勘兵衛も存じ居る、なほその方は町奉行護送の途中逃走したは不届き至極しかしこれは幕府が實権を掌握した居つたころの犯罪としてそれは深くとがめぬが、女が男装いたし居るこの度函館にて官軍に抗し居る榎本武揚の部下となつたはこれ許しがたきことである。何が爲めに男装して榎本の部下に加はつたかその事をつまびらかに申せ、又これまでもは御法にふれた所業もあるに相違ない、それを明白に申し立てろ」

花「あなたのお調べなされることはわたしにはよく判りませぬよ、男装になつてゐたこと、まだかくれた罪があるだらう、それを云へといふのでございますか」
伏「さうだ何で男装いたし居つた」
花「それについてはお話し申すことがございます、わたくしは兄の敵を討つたの

にこんな姿になつて居ります」
と答へた、伏谷と大木はこれを聞いて

伏「兄の敵をうつたために男装いたし居るとはそれは何う云ふ理由があつたか、その方の兄は何者か、またその方の父は何者か」



花「私は徳川様御繁昌のころにお臺所をつとめました土井と申す御家人の娘でございます、父が歿して後淺草の奥山に水茶屋を出しましたるが、母の母の間に長い間苦勞もいたし、また女にあつたまじき拭いても消えぬ繪まで書きました」

伏「繼母のために苦勞いたしたと申せば定めし兄共に繼母のためになやまされた事と思ふ、その兄の敵をうつたために男装いたし居つたか、シテ繼母はどうした」

花「たとへば邪慳にもせよ私のために母でございませぬ」
伏「その申立が眞實であれば貴様にも女姓の心はあるな」
花「私が体へ繪を書きましたは母があるお大名様よりばく大の支度料を取りまして妾に出さうといはしました、それをのがれる爲めにこんなものをほりましてございませぬ」

伏「左様か、してその繼母は何とした」
花「それは病死いたしました、母がなくなりました、後兄と共に居りました、居りましたが、その兄が今から五年以前間島の上手で他人手にかゝつて横死いたしました」

伏「その下手人が判らぬか」

花「浪人者と云ふことは知れませんが何處にゐるかその程は判りませぬ、その後私は徳川様の御家來の青木様に御愛顧をうけまして根岸の別荘に參つて青木様のお世話をいたして居りました」
伏「それではその方は青木の手かけか」
花「イエそんないやらしいことは微塵もございませぬ私が青木様のもとに居りましたは大勢の浪人者が出入りをいたしましたにつき、その中には兄を殺した下手人も居るであらう、それを聞き出すための方便でございませぬ」

伏「これ待て、その方の兄を殺したものは浪人なりと認めたい、定めて多少

の證據もあることと思ふ、なほまた如何なる宿意あつて浪人者がその方の兄を殺したかそれらを存じ居るであらう」

花「兄は定次郎と申しまして公儀の隠密方としてその役目によつて悪い事をしたものをとらへたこともございませぬ、それが遺恨となつて殺されたこと、存じます」
かう云ひながらそつと目をぬぐふ、伏谷も大木勘兵衛もお花の神妙な申し立てとその悄然たる姿を見て大いに同情した、しかしこれはお花の申し立てはつくりごとです、兄を殺したはお花自身、しかしこゝで芝居をせねば放免にはならぬ、それで一幕愁嘆場を出したがこれがうまく成功するか何うか……

伏「それではその方は青木の

木村外科醫院

自炊入院の便あり

電話三〇九番
平町六丁目橋際

専門
婦人科
花柳病科
入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

齒科口腔外科 レントゲン科

院長 東京齒科大學士 原 精一

平町土橋通り
電話三一三番

原齒科醫院

呼吸患救濟の王……
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用
吸入用酸素
體溫計 (メイトル)

御用命次第迅速に御届け致します

平町古鍛冶町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局

電話 四四四番
振替口座東京 〇〇五番

胃腸性病性

内科 胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

専門
院醫性病腸胃村松

(番〇七一町南町平)

診

夜

療

間